

2014年7月12日

報道機関各位

株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役会長兼社長 原田 泳幸

7月11日付 株式会社ジャストシステムのリリースについて

今般のお客様情報の漏えいに関して、多大なるご迷惑をおかけしていることにつき、深くお詫び申し上げます。

大切なお子様の学びに携ってきた企業として、その重大さを真摯に受けとめ、一刻も早くご安心いただけますよう、警察の捜査に協力し、全容解明とお客様対応に全社をあげて尽くしております。

そのような状況において、昨日11日の株式会社ジャストシステム（以下、ジャストシステム）のリリースでは「入手した全データを削除する」と公表されています。

しかし、現時点において一方的に情報を削除することは、警察や経済産業省による原因の究明を難しくするだけでなく、情報が漏えいしたお客様の不安感の払しょくには至らないと懸念しております。

今回のお客様情報の漏えいは、教育業界全体への信頼を毀損する大変な事件であり、関係する者が自らの利益を守るというレベルで行動すべきではありません。

再発防止とお客様にご安心いただくためには、被疑者特定のみならず、流通ルートを解明し、そのお客様情報が外部にないことを客観的に検証する必要があります。

ジャストシステムをはじめ、弊社から漏えいした名簿を入手した名簿事業者や漏えいした情報を購入した企業は、事実関係をつまびらかにし、お客様の不安を解消するため、積極的に情報を開示し、自主的に警察の捜査へ全面的に協力することを強く要請します。

我々は自らの責任を他社に転嫁するものではありません。当社の責任は真摯に受け止め、全力をもって解決にあたって参ります。